

# 平成 17 年度事業報告

## 総務・渉外（殿崎、茂幾、木村、北川）

1. 活動概要
  - 1) 名誉顧問・会友、役員懇談会の開催  
日時：平成 17 年 10 月 20 日（木）12:30～14:30  
会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）  
出席者：名誉顧問 7 名、会友 2 名、JMLA 役員 7 名  
・名誉顧問・会友の方々から貴重なご意見をいただいた。  
・詳細は JMLA ホームページ参照。
  - 2) 米国国立医学図書館（NLM）文献複写の web 申込開始  
平成 17 年 8 月下旬から web からの申込を可能とした。これにより作業が簡素化され、複写料金の値下げを行うことができた。
  - 3) JMLA 会員メーリングリストの開設  
JMLA 会員用メーリングリストの開設にあたり、全会員に参加をよびかけて開設した。このことにより、情報の速報性と効率化を図った。
  - 4) 「現行医学雑誌所在目録」の web 化の検討  
「現行医学雑誌所在目録」の web での提供について検討を行ったが、JMLA の他資料（事業）の web 化との関連を検討中である。
  - 5) カンボジアへの医学洋書の寄贈について  
大阪医科大学に寄贈される医学洋書を中心に、企画・調査委員会と連携してカンボジアへの寄贈事業について検討中である。
  - 6) 受託事業  
残念ながら平成 17 年度は受託できなかった。
  - 7) 国際交流の推進  
韓国医学図書館協議会（KMLA）との交流  
・第 76 回 JMLA 総会に KMLA 会員 2 名を招聘した。また、KMLA 開催の「秋季学術シンポジウム 2005」に JMLA 理事 2 名が出席し、JMLA の教育・研修活動について講演を行った。  
第 9 回国際医学図書館会議（ICML 9：於サルバドール・ブラジル）  
会員 2 名が参加し、うち 1 名が発表を行った。  
中国高等院校医薬図書館協会との交流  
中国高等院校医薬図書館協会との交流を推進するため、理事 1 名が同協会を訪問した。  
理事 1 名が「ハンガリー医学図書館協会」に出席し、JMLA の紹介等の発表を行った。
2. 入会・退会
  - 1) 入会  
正会員 B                    1 館  
    聖隷浜松病院  
正会員 D（個人）        9 名  
    山崎美智子  
    若田部純子

長谷川昭子  
河合輝道（獨協医科大学附属看護専門学校）  
山崎由紀子（吉田学園看護専門学校図書室）  
小嶋 智美（愛知淑徳大学図書館）  
豊田久美子（相模原協同病院図書室）  
小此木明子（伊勢崎市民病院図書室）  
濱元ゆかり（沖縄協同病院図書室）

## 2) 退会

正会員 A 1 館  
福岡歯科大学  
正会員 B 1 館  
沼南リハビリテーション学院  
正会員 D (個人) 1 名  
小林 清

## 3. 会員数

平成 18 年 3 月 31 日現在の会員数は以下のとおりである。

正会員 A 86 館  
正会員 B 30 館  
正会員 C 0 機関  
正会員 D 81 名  
協力会員 1 機関  
維持会員（団体）27 機関  
維持会員（個人）3 名

## 4. 設置委員会

- 1) 広報委員会
- 2) 組織・制度委員会
- 3) 機関誌「医学図書館」編集委員会
- 4) 出版委員会
- 5) 企画・調査委員会
- 6) 雑誌委員会
- 7) 分担購入委員会
- 8) 認定資格運営委員会
- 9) 教育・研究委員会
- 10) 協会賞・奨励賞選考委員会
- 11) 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）推進準備委員会
- 12) 第 12 回医学図書館員基礎研修会実行委員会
- 13) 第 12 回医学図書館研究会・継続教育コース実行委員会
- 14) 第 77 回総会組織委員会

## 5. 日本薬学図書館協議会（JPLA）との連携

- 1) 電子ジャーナルコンソーシアム契約について連携した。
- 2) 教育・研究活動について相互に協力し合った。

## 6. 米国国立医学図書館（NLM）所蔵資料の複写申込み（中央事務局処理）

Fax 646 件（平成 16 年度 1,931 件）  
Web 1,389 件

## 7. (社) 韓国医学図書館協議会（KMLA）への文献複写の提供（中央事務局処理）

61件(平成16年度49件)

8. 資料等の共同購入

1) 図書館年鑑 44部(平成16年度49部)

2) INSET TAPE 85,000本(平成16年度46,000本)

9. 総会当番地区および代表館

第77回総会 東海地区 藤田学園医学・保健衛生学図書館

第78回総会 関東地区 埼玉医科大学附属図書館

10. 寄付

株式会社紀伊國屋書店 10万円

丸善株式会社 10万円

## 広報委員会(北川)

1. 委員会構成

委員長 未定

委員 黛 崇仁(東歯)

\* ホームページ担当ワーキンググループ

委員長 川崎かおる(岩手)

委員 中村昌弘(旭川)、黛 崇仁(東歯)、森田奈津子(慈恵)、折井 匡(信州)、  
安田多香子(愛がん)、善見尚子(関西)、大瀧博久(島根)、三浦 誠(九  
大)

2. 活動報告

1) ホームページを利用した広報の充実

NPO 法人化により整備された定款・細則・規程の内容や、協会の諸事業および各委員会活動についてホームページに掲載し、会員、関連団体、一般の方々への広報に努めた。

2) ホームページ担当ワーキンググループの体制整備

各地区の協力を得て、標記ワーキンググループの委員を各地区に1名以上割り当てる体制を整え、委員補充を図ることができた。各地区に委員が配置されたことにより、全地区会のページを開始し、ホームページによる地区会活動の報告を進めた。

3) 会員メーリングリストの開始

会員、名誉顧問、会友相互のコミュニケーション手段の1つとして、主任司書用とは別にメーリングリストを開設し、424名の登録がある(平成17年4月6日現在)。なお、本メーリングリストの開始に伴い、ホームページ上の掲示板を中止した。

## 組織・制度委員会(坪内、磯野)

1. 委員会構成

委員長: 成田俊行(埼がん)

委員: 河合富士美(聖ルカ)、作野 誠(愛歯)、園田國昭(個人)、松坂敦子(個人)、石井保志(医歯)

2. 活動報告

1) 地区会細則について、以下のとおりの改正と補足を行った。

山梨県を関東地区に入れ、北陸・甲信越地区会の名称を北信越地区会に戻した。

地区会の県名表記順序を「建制順」という行政慣例に即して修正することとした。  
地区会運営費と地区研修助成金について申請書式を定め、支給基準、報告の方法について規定した。支給額は規定せず、財政状況により毎年度ごとに決定される。  
地区会会則雑型は文言の統一を図るためのモデルである。協会の諸規程に反しないかぎり、地区会会則は各地区会が自由に策定するものであることを確認した。

2) 評議員会の定義と位置づけを検討し、以下のとおり理事会及び評議員会に諮った。  
評議員及び評議員会の現状

- a. 主な任務は会長の諮問に応じることである。(定款第 23 条第 2 項、第 28 条第 3 項)。
- b. 理事会・協会の監査機関ではない。(定款第 15 条第 4 項)
- c. 地区会代表という印象があるが、定款は地区会代表と規定していない。
- d. 持ちまわりで選任する地区が多く、積極的な役割を期待できるか不明。
- e. 会員種別に対応した代表機能を期待する意見もあるが、支持を得られていない。
- f. その他、評議員の役割について新しい提案は現れていない。

組織・制度委員会の改革提案

現行の評議員(会)は組織・制度、運用において曖昧な部分が多い。役割を整理したうえで、実効性の強化と担当者(機関)の明確化を図ることが必要である。また、経費を勘案すると規模の縮小も検討の余地がある。そこで、次のとおり提案する。

- a. 現行の評議員及び評議員会制度を廃止(または改正)する。
- b. 会長が若干名の委員を指名する諮問機関を新設する。

参考案 . 外部有識者、会員図書館長、会友、名誉顧問などから構成する。

. 各地区代表者 1 名で構成する。

. 会員区分別代表者で構成する。

- c. 協会と地区会の連絡調整機能を担う「地区会事務局連絡会(仮称)」を新設する。

3) 協会所有電子資料利用規程を検討し、いかなる団体・個人でも申請は可能だが、条件によって利用制限されるよう規定した。また、料金を会員、非会員とも有料とし、その額は理事会が決定することとした。

4) 教育・研究規程、協会賞・奨励賞授与取扱規程、奨学基金規程、海外研修事業規程、研究助成規程、及び認定資格規程の各担当委員会改正案について、字句、表記の統一のための提言を行った。

## 出版委員会・機関誌編集委員会(木村、高田)

### 出版委員会

#### 1. 委員会構成

委員長： 浅井将行(昭和)

委員： 石谷 真(東医) 宮明秀幸(国医情) 村田泰子(日医) 渡邊三保子(鶴  
歯)

#### 2. 活動報告

##### 1) 「現行医学雑誌所在目録 2005」刊行

国際医学情報センター編集 平成 17 年 5 月 15 日 493 p 欧文雑誌篇 6,464 誌和  
文雑誌篇 3,182 誌収録 参加館 142 館 加盟館 10,000 円 一般 12,000 円

今年版より、希望する館については、国立情報学研究所総合目録データベースの雑誌データを使用した。

##### 2) 「図解 PubMed の使い方 インターネットで医学文献を探す 第 3 版」刊行

阿部信一 奥出麻里 共著 紀伊國屋書店発売 平成 18 年 3 月 5 日 91 p  
2,000 円 (税込)

- 3) 「アメリカ国立医学図書館蔵書構築マニュアル(仮題)」企画  
「Collection Development Manual of the National Library of Medicine」日本語  
翻訳版 酒井由紀子 押田いく子 柴田由紀子 共訳  
翻訳原稿の執筆を依頼した。年度内刊行予定だったが、諸般の事情で遅延し、平  
成 18 年 3 月現在、訳者で執筆、打合せ中。
- 4) その他の企画について検討した。

## 機関誌編集委員会

### 1. 委員会構成

委員長： 富田麻子(日医)

委員 伊東麻絵(昭和), 加藤砂織(東女), 城山泰彦(順天), 大谷 裕(東  
医), 押田いく子(東邦), 園原麻里(慶應), 柘植久美子(群馬), 内生  
蔵洋子(聖マ), 山田知子(慈恵)

協力委員 福田美波(北療), 横山美佳(東北), 今出朱美(東北), 樋浦真弓(新  
潟), 小林晴子(愛医), 澤 典子(関西), 西本 勉(広島), 福島真紀  
(福岡)

### 2. 活動報告

#### 1) 機関誌発行

52 巻 2 号(平成 17 年 6 月発行)第 11 回研究会発表記事を中心に

52 巻 3 号(平成 17 年 9 月発行)特集: 図書館システム

52 巻 4 号(平成 17 年 12 月発行)特集: 研修会・勉強会案内

53 巻 1 号(平成 18 年 3 月発行)特集: 病院機能評価

### 3. その他

1) 株式会社メテオインターゲートのメディカルオンラインからの電子版配信サー  
ビスの開始。

2) これまで委員は関東地区に限っていたが, 5 月末の複数委員の交代に向けて,  
他地区からも新たに委員を選出することになった。

## 企画・調査委員会(島)

### 1. 委員会構成

委員長： 青木裕子(天理)

委員： 伊藤淑子(阪齒), 伊藤芳幸(大体育), 土佐智義(広島), 吉富啓子  
(近畿), 大瀧博久(島根)

### 2. 活動概要

1) 委員会を 3 回開催した。

2) 「第 7 6 次加盟館統計(平成 1 6 年度)」を編集・発行した。

3) 第 5 5 回重複雑誌交換事業を実施した。  
事業の詳細については、「医学図書館」5 3 巻 1 号に掲載。

4) 「要覧 2 0 0 5」を発行した。  
細則及び規程を最新版に改訂した。

- 5) 「アンケート調査アーカイブ」を作成した。  
会員間で行なわれるアンケート調査について、調査概要と結果を JMLA ホームページ（会員専用ページ）に掲載することとし、広報委員会と共同で実施した。
- 6) その他新企画について検討した。

## 分担購入委員会（北川、宇野）

1. 委員会構成  
委員長： 清水英佑（慈恵）  
副委員長： 阿字川和雄（東女）  
委員： 茂幾周治（阪医）、島田和浩（東歯）
2. 活動報告
  - 1) 平成18年度分担購入事業参加館調査の実施  
高額外国雑誌（カタログ価格30万円以上）を候補として、各加盟館に分担購入参加について調査した結果、参加22館、分担購入誌165タイトルが決定した。
  - 2) 高額外国雑誌の分担購入案の検討  
平成16年度の分担購入事業参加館会議にて、本事業に参加することによる効果を数値で示すことの必要が出された。高額外国雑誌の分担購入についての目標案の検討を進めたが、数値目標の策定は次年度以降の課題として残った。
  - 3) 協会ホームページを利用した活動内容の広報  
本事業の活動経緯について会員に理解を願うため、協会ホームページに「分担購入活動」の項目を設けた。
3. その他
  - 1) 分担購入事業は冊子体を対象としてきたが、今後は電子ジャーナル利用も考慮した検討も始める必要がある。この点については、雑誌委員会との協力により進めていきたい。

## 教育・研究委員会（佐藤、高田）

1. 委員会構成  
委員長：野坂美恵子（東医）  
委員：館田鶴子（慶應）、渡辺由美（日医）、篠原寿美江（個人）、山田有希子（東厚年）
2. 活動報告
  - 1) 5回の委員会を開催（6/14, 9/7, 11/18, 12/2, 2/15）。  
JMLA/JPLA 合同教育研究委員会開催（3/9）
  - 2) 第12回医学図書館員基礎研修会（2005.8.3～5 於：京大会館）  
第12回医学図書館員基礎研修会実行委員会（事務局：京都大学医学図書館）  
委員長：島 文子（京大）  
委員：宮本小夜子（京府）、北川昌子（京大）、中川則孝（滋賀）、高橋和代（阪歯）深貝幹雄（近畿）  
テーマ：「信頼される医学図書館員になるために：知っておくべき知識と技術」  
参加者数：61名（会員：36名、非会員：25名）

- 3) 第12回医学図書館研究会・継続教育コース 共催日：日本薬学図書館協議会  
(2005.11.14~16 於：東京歯科大学血協記念ホール)  
第12回医学図書館研究会・継続教育コース実行委員会(事務局：東京医科大学図書館)  
委員長：遠藤典子(東医)  
委員：小泉美穂子(北医)、真下美津子(連中)、高橋英子(東歯)、渡部計輝(獨協)、佐近匡満(東邦習)、堀野貞美(帝京薬)  
テーマ：「ライフサイエンス情報の明日(みらい)に向かって」  
研究会 55名(発表者15名) 継続教育コース1 46名  
継続教育コース2 34名
- 4) 第2回情報プロフェッショナルシンポジウム( INFOPRO2005 JMLA 後援 )  
(2005.11.10~11 於：日本科学未来館)
- 5) 第7回図書館総合展(2005.12.2 於：パシフィコ横浜)  
日本薬学図書館協議会との共催フォーラム「アメリカに渡った日本の古医書 - 米国国立医学図書館」 講師：酒井シヅ(順天堂大学客員教授)  
参加者数 約70名
- 6) 海外研修  
ICML9(2005.9.20~23: ブラジル サルバドール)を対象として海外研修者募集。  
発表者(30万円)：殿崎正明(日医)、参加者(10万円)：小川禮子(女栄)
- 7) 研究助成  
応募件数1件を助成の対象として決定(10万円)。  
牛澤典子(東邦)：「日本医学会(分科会)が作成し、インターネットで公開する一般市民向け医学・医療情報の調査・収集とリンク集作成により一般市民へ向けた情報提供方法の検討」
- 8) 協会賞・奨励賞選考委員会  
3回の委員会を開催(7/21,9/15,3/15)  
委員長・協会賞 青木 仕(順天)  
委員長・奨励賞 土佐智義(広島)  
委員 高野史子(東医)、小川禮子(女栄)、富田麻子(日医)  
平成17年度日本医学図書館協会奨励賞受賞者を選考の結果2名選出した。  
1. 岡田英孝(東医)  
電子ジャーナルにおける訂正記事の扱い 医学図書館 2005;51(4):363-7  
2. 諏訪部直子(杏林)  
「EBM」を書名に含む国内臨床医学書の分析と評価 医学図書館 2005;  
51(4):363-7  
臨床医学論文に必要な情報リテラシー 医学図書館 2005;52(1):53-8.

## 雑誌委員会(宇野、坪内)

1. 委員会構成  
委員長 未定  
委員 今野 穂(札幌) 風間茂彦(慶應)[10月末で異動のため辞任]
2. 活動報告  
1) 第76回総会分科会1「電子ジャーナルと冊子体の今後の展望」において  
司会および話題提供をおこなった。

- 2) コンソーシアム提案内容の協議  
ACS, Wiley, Nature, Springer, Blackwell, Science, Elsevier 各社と協議を行った。
- 3) 電子ジャーナルコンソーシアム説明会の開催  
9月14日 日本科学未来館(江東区青梅)  
9月21日 大阪大学生命科学分館(吹田)
- 4) ホームページによるコンソーシアムの情報提供  
パスワード認証による提案内容掲載ホームページを作成
- 5) 他コンソーシアムとの協力  
JANUL(国立大学)、PULC(私立・公立大)のコンソーシアムと協力について話し合いをおこなった。PULCについては Science Online で協調が成立した。
- 6) 委員会の開催  
平成17年度第1回雑誌委員会 9月14日 日本科学未来館  
平成17年度第2回雑誌委員会 2月21日 東京住友クラブ

## 認定資格運営委員会(吉江、佐藤)

1. 委員会構成  
委員長: 山崎美智子(個人)  
委員: 清水英佑(慈恵)、永田治樹(筑波大)、裏田和夫(名誉顧問)、殿崎正明(日医)、坪内政義(愛医)、館田鶴子(慶応)、青木 仕(順天)、福広利明(阪医)
2. 活動報告
  - 1) 認定資格運営委員会 第1回開催  
日時: 平成17年7月21日(木) 13:30~17:00  
場所: 慶應義塾大学医学部総合医科学研究棟3F会議室  
主な議題: 1. 今後の認定制度の運営について  
認定資格規程の見直し  
ポイント表の見直し  
2. ポイント審査評点結果表の利用
  - 2) 認定資格運営委員会 第2回開催  
日時: 平成17年9月9日(金) 13:30~17:00  
場所: 野口英世記念会館 第2会議室  
主な議題: 認定審査作業及び規程・ポイントの見直し(継続)
  - 3) 認定資格運営委員会 第3回開催  
日時: 平成17年11月20日(日)~21日(月) 1泊2日  
場所: 東京大学セミナーハウス 千葉県検見川  
主な議題: 1. 今後の認定制度の運営について(継続)  
認定資格規程の見直し  
ポイント表の見直し
  - 4) 認定資格運営委員会 第4回開催  
日時: 平成17年9月9日(金) 10:00~17:00  
場所: 野口英世記念会館 第2会議室  
主な議題: 認定審査作業及び規程・ポイント表の見直し(継続)
  - 5) 2005年度 第4回 認定者 上級4名 中級2名 初級2名 計8名

- 6) 2005年度 第5回 認定者 上級2名 中級5名 初級15名 計22名
- 7) 認定資格規程改定案(ポイント表を含む)認定資格運営委員会内規改定案の検討と作成 (認定資格規程案は第7回目から実施予定)

## 国立ライフサイエンス情報センター(仮称)推進準備委員会

(磯野、茂幾)

### 1. 委員会構成

委員長: 阿部信一(慈恵)

委員: 浅井将行(昭和) 北川正路(慈恵) 木村 博(個人) 澤田紘子(医師)  
篠原寿美江(個人) 殿崎正明(日医) 成田俊行(埼がん)

### 2. 活動報告

1) 「一般市民への良質な保健医療情報の提供」事業協力をテーマに、以下のライフサイエンス系図書館団体の代表と平成17年11月4日(金)、第1回の連絡会を開催した。

- ・日本看護図書館協会
- ・日本農学図書館協議会
- ・日本薬学図書館協議会
- ・病院図書室研究会
- ・近畿病院図書室協議会

「国立医学図書館(仮称)検討委員会最終報告」をもとに意見交換を行った。検討の結果、協力事業として「一般市民向けの保健医療情報」ポータルサイトの構築を進めることとなった。各団体からは事業協力の確認を頂いた。

2) 「国立医学図書館(仮称)検討委員会最終報告」を医学図書館協会ホームページより公開した。

公開後、国立国会図書館、武蔵野市立図書館などから意見、問い合わせがあり対応を行った。特に国立国会図書館に関する表現の一部を修正し、ホームページに経過ならびに修正箇所を掲載した。

## 財政

### 1. 収入

- ・受託事業が受注できなかった。
- ・「図解PubMedの使い方第3版」の発行遅れから平成17年度の収入に寄与できなかった。

この2点が影響して予算額より約100万円の減収であった。

### 2. 支出

名誉顧問懇談会開催などで若干の支出増があったが、全体的に節減に努めた。

### 3. 全体

収入総額に対し、支出総額が約100万円上回った。今後はこのような事のないよう注意のうえ執行する。